

福島第一原子力発電所 3号機燃料取扱機 マストの復旧について

< 参 考 資 料 >
2 0 2 0 年 1 0 月 7 日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

- 3号機の燃料取り出し作業については、2020年9月2日の燃料取扱機（FHM）マストケーブル損傷発生以降、復旧のため中断しておりました。
- 損傷したマストケーブルは9月18日に復旧しており、導通不良が確認されていたつかみ具内部回路についても昨日（10月6日）に修理と動作確認が終了いたしました。被覆損傷等を確認していた燃料取扱設備の水圧ホースも予備品と交換済みです。（クレーン主巻：9月23日、クレーン補巻：10月1日）
- 明日（10月8日）より、準備が整い次第、49回目となるキャスクへの燃料装填作業を開始する予定です。2020年度末までの566体の取り出し完了に向けて、引き続き安全第一で、確実に作業を進めてまいります。（これまでの進捗：336体／566体）

